

つがる市議会だより

9月定例会

定例会の概要	1	常任委員会の審査状況	8-9
平成25年度各会計決算報告	2	議会改革レポート	10
一般質問要旨	3-6	行政視察報告	11
予算・決算特別委員会審査状況	7-8	議会の動き「クールつがる」	12

▶ 第41号 平成26年11月 発行：つがる市議会 編集：議会だより編集委員会



～ 大きなリンゴがとれました! ～ もりた保育園すずらん組の子どもたち

主 な 可 決 議 案 (平成26年度つがる市一般会計・特別会計補正予算)

○平成26年度一般会計補正予算額	8億1,821万2千円
補正後の予算額	241億1,685万5千円
○平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算額	1,064万3千円
補正後の予算額	7億1,596万7千円
○平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算額	896万4千円
補正後の予算額	7億1,002万2千円
○平成26年度国民健康保険特別会計補正予算額	9,925万6千円
補正後の予算額	55億8,660万4千円
○平成26年度介護保険特別会計補正予算額	1,595万5千円
補正後の予算額	42億2,507万5千円

9月定例会の概要

平成26年第3回定例会は、9月1日から17日まで17日間の会期で開催されました。
 今定例会では、旧繁田小学校体育館を市の運動施設として設置するための「つがる市運動施設条例の一部を改正する条例案」をはじめ、平成25年度の各会計決算案など市長から提出された20議案を原案通り可決・認定しました。
 一般質問には、7名が登壇、市政の課題について当局の考えをたえました。

一般会計、特別会計 ともに黒字

9月定例会では平成25年度各会計の歳入歳出決算について、全議員による予算・決算特別委員会審査し、いずれも認定すべきものと決まりました。

平成25年度一般会計決算の状況 ※1万円未満四捨五入	
収入	244億5,801万円
支出	239億4,624万円
繰越金（翌年度へ繰り越したお金）	3,707万円
実質収支（残ったお金）	4億7,470万円

平成25年度の主な事業

●つがる西北五広域連合負担金（つがる総合病院・市民診療所）	11億2,947万円
●地域住宅支援事業（桜木団地建替え）	4億77万円
●道路橋梁事業	6億2,241万円
●集出荷水温貯蔵施設建設事業	1億6,876万円
●消防施設整備事業	1億2,628万円

一般会計 市民一人あたりの支出 **679,963円** ※小数点以下四捨五入

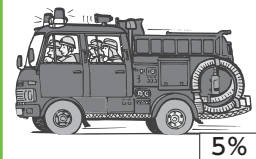
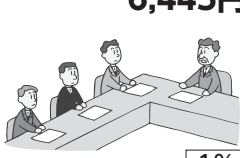
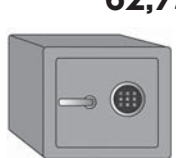
人口 35,217人 （平成26年3月末現在 外国人を含む）で単純に算出したものです。

平成25年度一般会計予算はこうに使われました

平成25年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市民税・固定資産税など）は69,804円で、市民の皆さんのために使われた予算は679,962円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県支出金などで賄われています。

各項目を一人あたりの支出に換算すると

☐ は支出の割合 端数調整

福祉・社会保障のために 180,615円  27%	教育などのために 49,482円  7%	道路などの整備に 59,711円  9%	保健や環境衛生などに 43,288円  6%	消防・防災対策などに 35,680円  5%
農業・商工・観光振興などに 68,160円  10%	議会運営のために 6,445円  1%	その他のサービスなどに 78,486円  12%	基金（預金）積み立てに 62,735円  9%	公債費（借入金の返済）に 95,361円  14%

平成25年度特別会計決算の状況 ※1万円未満四捨五入				
区 分	収 入	支 出	繰越金	実質収支
農業集落排水事業	6億3,279万円	6億3,261万円	0	18万円
公共下水道事業	5億9,079万円	5億9,073万円	0	6万円
国民健康保険	57億1,472万円	54億6,748万円	0	2億4,724万円
後期高齢者医療	6億5,898万円	6億5,544万円	0	354万円
介護保険	41億4,846万円	41億4,643万円	0	203万円

主な可決議案

諮問

諮問第2号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件

（1委員の任期が満了することに伴い、後任委員の推薦について意見を求めるもの）

佐々木 英里子（再任）

任期

平成27年1月1日から
平成29年12月31日まで

議案第48号

つがる市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例

（引用する法律が一部改正され、その題名が改められたことから規定を整理するために提案されたもの）

一般質問要旨 ここが聞きたい

38号より答弁者職名をカットしています

議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



成田 克子
芳政会

- ・ 專業農家の後継者を先進地研修に派遣することについて
- ・ 「がんばる地域交付金」について

問

農業経営は変革の年を迎えており、TPPにも負けない強い農業後継者の育成は、本市の最重要課題である。專業農家の後継者に研修の機会を与えることは、極めて有効な施策と考えるが市長の所信を伺いたい。

答

県内外の農業振興事例を自分の目で見て、耳で聞き、自分のものとすることは非常に有効であると考えます。「つがる市農業振興事業」の中に、先進地研修助成事業があるので、対応して参りたいと考えます。市としても担い手確保のために新規就農者、認定農業者の掘り起こし、人農地プランへの登録などに取り組んでおります。また、農産物の付加価値を高め、農業経営の多様化を図るため「つがる市食産業ネットワーク」を設立したところです。

問

研修派遣事業実施に向け早速取り組んでいただきたいが、第1回目はいつ頃になると見込まれるか。

答

規則等の見直しなどがあるため多少時間がかかりますが早急に

取り組みたいと思います。

問

「がんばる地域交付金」の額が、本県最高額の4億3千975万9千円となった。どのような取組が評価されてのことか。また、活用する事業はなにか。

答

この交付金は財政力の弱い市町村であっても地域活性化に取り組めるよう支援するためのものです。国の施策と歩調をそろえた経済対策を行うために市町村が持ち出した金額の40%を最高として交付されるもので、今回当市はその最高額の交付となりました。内訳は財政力指数分が30%（財政力が弱い自治体に多く算定）、行政改革努力加算分が10%です。これについては職員の削減率が大きいことで最大の10%が加算されました。結果、最も高い交付率となったものです。

活用事業は、成人病センターの解体事業、旧繁田小学校屋内運動場の改修、福祉バスの購入、森田小学校体育館空調改修、つがる市相撲場整備、柏第1分団屯所整備、市道改修などです。



長谷川 榮子
無所属

- ・ 市内誘致企業の状況について
- ・ つがる市へのふるさと納税について
- ・ その他の質問 市のイメージキャラクターについて

問

つがる市初の誘致企業（コンシェルジュセンター）の現状は。

答

（株）DIOジャパンの現地法人として「つがるコンシェルジュセンター株式会社」を誘致しましたが、DIO社は7月末で業務を休止し、その存続についてご心配をおかけしました。現在はDIO社と資本提携もなく全く別法人であり、研修も継続されております。研修内容はコールセンター事業、地域情報誌作成事業、通信販売事業の3業務で10月からの本営業に向け準備が進んでいるとのこと。現従業員は50名、つがる市民は29名です。今後も連絡を密にし雇用維持を強く求めて参ります。

問

誘致に当たっての市の持ち出しはどれくらいだったのか。

答

当初、桜木団地集会所として県から譲渡された旧高等技術専門校の、一部用途変更による国・県への返還金1100万円程です。改修費には「元氣臨時交付金」をあて、人件費は県からの助成金となってい

ます。

問

DIOジャパンの閉鎖報道により前もって対策本部を立ち上げている市もある。当市に立ち上げの考えはないか。

答

DIO社と別会社となった現社長より今後の営業計画を提示してもらい、県も交え協議し、業務を継続するという事で確認しているため状況を見守る考えです。

問

平成20年度に設けられたふるさと納税制度の現在までの寄附金総額は。また、寄附に対する記念品の内容と合計金額は。

答

初年度から25年度までの合計は147件、544万5千円。本年分は8月末現在で68件、190万円となっております。当初の記念品は、ごぼう麺や特別栽培米つがる口マンで、昨年度までの代金合計が19万4千円程でした。本年度から寄附金額によって記念品を選択でき、メロンやリンゴの収穫体験ツアーを選択できるコースもあります。

一般質問要旨 ここが聞きたい

※38号より答弁者職名をカットしています※
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



伊藤 良二
芳政会

- ・教育行政（図書館建設）について
- ・つがる総合病院について
- （その他の質問 市の誘致企業について）

問 図書館建設の見通しはどのようになっているか。また、建設に向けた準備状況は。

答 図書館の早期建設については慎重にならざるを得ないと考えます。理由としては社会教育施設の補助金や地域総合整備事業債の廃止、また、来年度から段階的に交付税額が減少すること等があげられます。よって具体的に事務作業を進めていく状況にはなく、まずは財源確保に努めたいと考えております。

問 つがる総合病院の市民からの評価はどうか。

答 診察室の個室化や検査の待ち時間の半減などについて好評を得る一方、受診率の高い診療科における待ち時間が長いことや病院建物と立体駐車場との階が同一でなく紛らわしい等のご意見を頂戴しているとのことで、更なる医師確保や来院者への案内を充実させるなどサービス向上に努めるとしております。

問 救急体制の状況説明を。

答 現在、軽症で典型的な患者についてはサテライト病院に分担いただく方向で試行しておりますが、患者の申し出が軽症であっても重症化が懸念される場合も少なくないため、救急隊の患者受け入れ先決定の判断が難しい場合もあるとのことですので。この状況を踏まえ、中核病院とサテライト病院による検討会議で体制確立に向けた協議を進めております。

つがる市消防本部内の救急出動搬送については、現在、つがる総合病院、金木病院、鰯ヶ沢病院へとなっております。重度のケースについてはドクターヘリで県病へ搬送しております。



佐々木慶和
五和会

- ・誘致企業対策について

問 集会施設を使用目的として県から譲渡された旧弘前高等技術専門校つがる校舎の一部を、補助金を返還してまで誘致企業に貸与したのなぜか。

答 県から誘致の情報提供があった際、4施設を候補地として企業側に提案し、先方から旧弘前高等技術専門校つがる校舎2階に誘致したい旨、回答がありました。国、県補助金の返還金があることは重々承知しておりましたが、雇用が50人程度生まれるということで、経済効果や税収の増、人口減少対策等、様々な好影響を期待できると判断したものです。

問 D・O・Jとつがるコンシェルジュセンターの関係性は。また、県からの補助金はどれくらいか。

答 誘致の際はD・O・Jの現地法人としてつがるコンシェルジュセンターを開設しておりますが、現在は業務の受注、人事面においては一切関わりがなく、資本金につ

てもD・O・Jからは入っていないということです。補助金については、25年度に993万9890円、本年度は現時点で745万4000円の交付を県から受けております。市は「つがる市観光コンシェルジュ人材育成事業」としてセンターと委託契約を交わしており、委託料としてこれを支払っております。

問 今後の見通しについて県、市と企業側とで協議されているものか。

答 8月に3者で協議しております。雇用が50人という企業誘致です。是非とも成功させたいと思っております。

問 大きな事業を手がける場合は今後結果だけではなく経過についても説明願いたい。

答 必要に応じて説明を尽くして参りたいと思います。

一般質問要旨 ここが聞きたい

38号より答弁者職名をカットしています

議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



松橋 勝利
無所属

・学校給食について

問 市内小中学校生徒の給食費の納入状況は。

答 25年度決算によると3件、2万7695円の未納がありました。内、二重測定となったものが1件。他の2件は5月末の出納整理期間中に納付されず未納となったものです。が、督促により納付されており、今後、ミスを防ぐため学校との連絡を密にし、また、出納整理期間中の確認作業を徹底することなどにより未納解消に努めて参ります。

問 給食食材は、県学校給食会を通じて入ると聞かすが、県内の食材をどのくらい購入しているのか。

答 取り扱っている県内地場産品は166品目、物資全体に占める割合は17・1%、と公表されており、つがる市産では米をはじめブロッコリー、トマトが提供されています。

問 地産地消についてはどのような状況か。また、米の購入価格は。

答 24年度の実績が14・74%。25年度は10・56%となりました。昨年は夏場の猛暑の影響により品薄

でした。また、流通業者も高値で引き取られる首都圏への供給を増やしたため地元食材が高騰したこともあって、使用量が減少したものと受け止めております。米価ですが、学校給食会と物資の売り渡し契約を交わしており、キロ当たり293円となっており、一般小売価格が297円であり、学校給食会から提供を受けた方が安く仕入れることができることとなります。

問 県学校給食会の財産及び資産はどのくらいか。

答 現金、預金、物資等の流動資産が4億6500万円。土地、建物等の基本財産と車輜、有価証券等の流動財産を加え総額は約12億6000万円と公表されております。

問 地元農家のものを地元の子どもたちに食べさせたいという思いがある。県などの協議の場にも伝えることはできるか。

答 10市の教育長会議など情報交換の場で話題にしながら、各市の取り組みについても情報を得て、各市の取り組みに役立てていきたいと思



佐々木 直光
五和会

・津軽自動車道五所川原西バイパス開通に伴う周辺地域の振興計画について つがる市消防署、消防団の統合計画について

問 柏地区の国道101号線及び県道154号線周辺の具体的な振興計画はあるのか。

答 これまで市道下古川6号線の整備やつがる市農産物直売所の設置をしました。また、今後北部農道方面から稲盛交差点間のアクセス道路の拡幅を行うことで、柏商業地区へのスムーズな交通の流れの確保に努めます。

問 いずれ鰐ヶ沢まで自動車道が開通した場合、当市は通過点になってしまつのではと危惧する。商業施設、住宅地など柏インター周辺の振興策を早急に計画すべきと考え

るがどうか。

答 商業施設、また、その他の施設を含め今後構想を練っていききたいと思

問 つがる市の消防署再編統合計画はどの程度まで進んでいるのか。

答 分署数の検討ほか救急出動を考慮した計画にしたいため、まだ

最終案に至っていない状況です。

問 再編検討は有識者や地域住民の意見も聞きながら進めてほしい。また、各分署とも老朽化しており、地震等の際、地域の防災拠点そのものに不安がある。その意味からもう急に結論を出してもらいたい。

答 検討委員に住民を加えることや、屯所の建て替えも含めて検討し、再来年頃までには報告したいと思

問 消防団員が減少傾向にある。大災害時などの人手不足を補うためにも消防団をサポートするOBやボランティアからなる組織が必要ではないか。

答 経験を活かせる消防団OBの組織化を検討していきたいと思

一般質問要旨 ここが聞きたい

※38号より答弁者職名をカットしています※
議員が何を聞いて市がどのように答えたかが理解できればよいと考え、読みやすさを重視したものです。



三上 洋
芳政会

・今後のつがる市の展望等について

問 過去10年間を振り返り、これから求められる自治体の姿をどのように考えるか。

答 市の独自性と自立を実現させるために、市民・行政の双方が協働についての理解を深め、住民の知恵や力をまちづくりに反映させていくことが、これからの行政運営において最も重要な要素のひとつと考えております。同時に、合併の効果や事業の達成状況の検証など現状を分析すると共に、評価した結果を次の計画へ有効に取り入れて参ります。

問 行政スタイルを、従来の管理型から経営型に変えるべきと考えるかどうか。

答 限られた行政資源を有効活用し、簡素で効率的な行政運営に努めると共に、多様な住民ニーズに応えていくため住民サービスの見直しなどの改革を進め、持続可能な行政システムを構築することが必要となっております。経営型行政運営の手法も検討しながら、当市の実情に沿った行政運営を目指して参りたいと思

います。

問 市の収入を増やすような取組を行っているか。

答 収納率アップのための収納課の強化、広報やホームページへの有料広告、未利用財産の売り払いなどを実施しております。話題のふるさと納税を伸ばすことでも収入アップにつなげたいと思います。

問 事務事業の合理化はどのように図ってきたか。

答 職員数の削減、組織機構の見直しに取り組んできました。また、来年度からの第3次行政改革大綱の策定に取り組んでおり、市民の意見を聴取するため委員を委嘱しました。来年3月、議会に報告したうえで、パブリックコメントを実施し、6月には決定して更なる合理化に取り組んで参ります。

総括質疑

今定例会では、伊藤良二議員による総括質疑がありました。

問 平成25年度決算における各比率と指数は。また、改善された要因は。

答 各比率及び指数は左表のとおり。

実質公債費比率	14.5% (-0.9)
一般会計が負担する公債費とこれに準ずる額の大きさを数値にしたもの	
将来負担比率	138.1% (-25.6)
一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの	
財政力指数	0.23(横ばい)
財政基盤の強さを示す指標。1に近いほど財政状況が良いとされ1以上の自治体には普通交付税の交付がされない	

経常収支比率	83.7% (-2.1)
人件費などの経常的な経費に対して一般財源がどれくらいあるかを表すもの	
公債費比率	12.5% (-1.7)
公債費（市債の元金の返済や利子の支払い等）が一般財源に占める割合	
起債制限比率	11.0(-0.7)
一般財源のうち地方債の実質額の返済に充てる割合を示したもの	

() 内は前年度比

実質公債費比率減少の要因は元利償還金の額が減少したこと、将来負

担比率については将来負担に対する充て可能な基金が増えた事により増えます。(財政調整基金、減債基金等、12億円ほど基金が増加しており、その分が将来負担比率に反映されたものの)

問 現在の公債残高（地方債現在高）と基金の額は。

答 25年度の決算では一般会計、特別会計の合計で466億5932万5000円。26年度末では473億9700万000円の見込みです。基金は、財政調整基金、減債基金及びその他の特定目的基金の合計で、91億1981万円となります。

問 公債費残高が大きいのではないかと。

答 公債残高の中に未償還の過疎債が98億ほどあります。過疎債は交付税に7割のはね返りがあるため、本来の残高はもっと少ないこととなります。

問 経常収支比率は下がってきているがまだ硬直化があるように感じる。

答 今後職員定数が減少すれば付帯する物件費も下がることから落着くのではないかと考えます。

予算・決算特別委員会

二十六年度補正予算や二十五年度 決算の審査状況をお伝えします



委員長
長谷川 徹

となったもの。新たな遊具の設置は現在のところ考えていない。地区からの強い要望が出た場合は検討する。

今議会の予算・決算特別委員会では、平成26年度の一般会計補正予算をはじめ、25年度の各会計歳入歳出決算について審査しました。主な質問（要約）は次のとおりです。
（一般質問同様、答弁者の職名は掲載しておりません。）

議案第51号
平成26年度つがる市一般会計補正予算（第3号）

問 佐々木 直光 委員

亀ヶ岡公園遊具の改修工事が撤去工事になった理由は。また、撤去後、新たな遊具の設置を考えているか。

答 調査の結果、修繕箇所があまりにも多く撤去

問 松橋 勝利 委員

電子機器管理費の業務委託料は個人番号制度導入にあたり計上されたのとこのだが、この制度の利便性は。

答 例えば年金事務所等、国の機関への申請の際、添付書類を市役所ととって

から国の機関へ出向く必要があるが、番号制度導入後は、主たる申請場所に申請するだけで個人番号を介して市町村に照会できるようになる。また、年金の管理や生活保護の厳正な受給にも役立つ。

問 長谷川 榮子 委員
商工会助成補助金は何か新しい事業への助成か。

答 まちの駅「あるびよん」の運営費となる。「あるびよん」開設の当初の目的は、障害者や高齢者の交流の場の創設である。運営の半分はコミュニティ施設としての活用で、高齢者、障害者の交流を通して地域を盛り上げていくという趣旨の運営となっている。高齢者が多く集まるが顧客単価は非常に低いため補助金も必要となる。



一層の活用が期待される「あるびよん」

問 佐藤 孝志 委員
臨時福祉給付金（消費税アップに伴い、非課税世帯に1万円を給付するもの）の対象者はどれくらいいるのか。

答 8月末までの支給決定者は、住民税非課税世帯の7562人。このうち5000円が加算となる年金受給者の方が4061人。その他、児童手当を受けている子育て世帯への支給決定数が1512件、対象児童数2496人となっている。（子育て臨時特例給付金分を含まない）

問 佐々木 敬藏 委員
今回の除雪対策費は融雪溝工事かと思うが場所はどこか。

答 稲垣、柏地区融雪溝のさく井工事（補修）となる。不調が確認され、一部揚水管を上げて点検しているもの。森田地区では融雪施設の修繕工事を行っている。

めるの件

問 松橋 勝利 委員
市税を長く滞納しているケースについて不納欠損に至らないような方策はとっているのか。

答 まずは現年分の未収額を増やさないことを目標に取り組んでいる。今年度決算においては、調定額が前年度よりも多いにもかかわらず徴収率が上がり、収入未済額も前年度を下回った。さらにコンビニ収納を開始し、全ての税に該当させていることでもかなり効果も出ている。引き続き収納課とタイアップし必要に応じて臨戸徴収等も含めた手段を講じ、全力を挙げて徴収していきたい。

問 成田 昭司 委員
指定管理団体の監査を管理期間により2年、3年に1回と周期的に行っているとのことだが、回数を多くしてはどうか。

答 周期が決まっているわけではない。指摘事項に対して改善が見られない場合など連続して監査に

議案第56号
平成25年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求

入っているケースもある。

問 成田 昭司 委員

柏小学校体育館の雨漏りが目に余る状況となっている。避難場所にもなり得る場所である。教育環境を整えるためにも、また、地域住民のためにも修繕すべきではないか。

答 部分的な塗装と改修で対応してきた。雨漏り以外にも多数要望を受けており優先性の高い順に修繕を実施している。また、柏小学校は築30年近く、全面改修の検討が必要になっていることから、現在実施している森田小学校体育館屋根の全面改修と来年度予定の校舎の改修後に柏小学校の改修を検討したい。

問 三上 洋 委員

分析鑑定委託料を計上している田小屋野貝塚出土の人骨は今後どのように活用する考えか。

答 ひとつの構想案として田小屋野地区にガイダンス施設の整備を検討しており、実現の暁には専門家の指導を受けながら人骨を

展示したいと考えている。

問 長谷川 榮子 委員

県民駅伝に県外で活躍している市出身の大学生等ふるさとランナーを活用してはどうか。

答 今年、第1区をふるさとランナーが走っている。ジュニアランニングクラブができ、子どもたちの層が厚くなってきている。県外へ進学後も陸上競技を継続し、ふるさと選手として活躍してくれるのではないかと期待している。



常任委員会

各常任委員会の審査状況をお伝えします

付託された議案についての主な質問（要約）は次のとおりです。（一般質問同様、答弁者職名を掲載しておりません。）

教育民生常任委員会



委員長
村上 秀徳

議案第45号

つがる市外国語指導員等の報酬及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

問 小笠原 忍 委員

現在の報酬額及び改正後の報酬額と勤務体系は。

答 1年目28万円、2年目30万円、3年目32万5千円、4年目・5年目33万円と規定されている。改正後はこれに通勤手当相当額を加えた額となる。（各勤務校近くの教員住宅に居住する外国語指導員を、柏地

区の教員住宅に集約して居住していただくことになったため、勤務校までの通勤手当相当額を加算するもの）

勤務体系は、1日7時間、週換算35時間を想定している。

問 小笠原 忍 委員

小学校高学年で実施の英語活動を3年生に前倒しし、5年生からは教科へ格上げの動きがあるが対応や体制をどう考えているか。

答 外国語指導員の確保、指導力の向上など、実施に当たってはいろいろな課題がある。今後国の動きを見定め対応していきたい。

問 平川 豊 委員

外国語指導員の現在の人数と勤務校は。

答 人数は3名。木造中学校、森田中学校、車力中学校がベース校であり、柏、稲垣へはベース校から派遣している。

問 平川 豊 委員

今後業務が拡大すると思われるが3人で充分か。

答 小学校については日本人教師も手伝っており現在の時間数であれば充分対応可能と考える。

議案第46号

つがる市立学校設置条例の一部を改正する条例

（車力小学校、牛淵小学校及び富港小学校を統合し、車力統合小学校（仮）を設置するために提案されたもの）

問 白戸 勝茂 委員

建設予定地とされている車力中学校グラウンドは傾斜部分があり、条件的には良いとは言えないと考えるが建設場所とした根拠は。

答 当初3カ所の候補地があり地質等の調査では遜色がなかったが、今後小・中連携などを深めるためには、校舎が隣接している方がよりコミュニケーションしやすいという考えから選択されたもの。また、補助金の有効な活用においても隣接案が最も有効であるこ

とから計画したもの。

問 白戸 勝茂 委員
グラウンドの確保はできるのか。

答 トラックの取り方を工夫するが具体的な検討は今後となる。

議案第47号

つがる市運動施設条例の一部を改正する条例

(つがる市繁田屋内運動場を新たに設置するとともに、その使用料を無料とするため提案されたもの)

問 平川 豊 委員
次の3点について問う。

① 繁田小学校体育館の改修内容② 利用可能な競技③ 利用時間及び管理方法

答 ① 床の補強、人工芝の敷設、防球ネット。その他玄関、トイレ、廊下、外壁の改修など。人工芝とした理由は、床を外すことにより耐震強度不足となる等の調査結果による。② 野球、ソフト、サッカー等の野外競技を想定③ 市の運動施設条例施行規則を運用し、午前9時から午後9時

までとする。当面は市の管理としたい考え。

議案第49号

つがる市介護保険条例の一部を改正する条例

(特別災害における介護保険料の減免措置について定めるため提案されたもの)

問 平川 豊 委員
昨年の台風18号の水害

による介護保険料の減免者数と金額は。また、今回の改正後の条例で試算するとどの程度の差額が生じるのか。

答 減免の対象者が131名で、減免となった保険料額はトータルで212万6079円。改正により生じる額は15万3000円増と試算している。

建設常任委員会



委員長
木村 良博

議案第50号

つがる市営住宅条例の一部を改正する条例

(引用する法律が一部改正され、その題名が改められたことから規定を整理するために提案されたもの)

問 長谷川 榮子 委員

引用する法律の改正とは、中国残留邦人永住帰国後の自立支援に関する部分に、永住帰国以前からの配偶者の支援について加えたものとなっているが、当市に該当者はいるのか。

答 市営住宅の入居者資格の条文に引用されているものだが、現在のところ当市に該当者は在住していない。

請願

請願第4号

町内会管理の農道整備についての請願

請願人 広岡町内会

代表 長谷川久徳

紹介議員 長谷川 徹

天坂 昭市

墓地への通路でもあるこの農道は、降雨の都度、畑

やビニールハウスに雨水が大量流入して被害が出ている。これまで土嚢等で対処してきたが、今回側溝整備と市道への編入を求めているもの。現地確認後、担当課の意見も聴取しながら審査した結果、側溝整備については、他の市道の側溝入れ替え工事の際に発生したU字溝の再利用で対処することとした。市道への編入要望については、つがる市市道認定基準要綱の要件及び基準に至らないことから、現況では困難との判断となった。よって本請願については要望の一部を採択する結果となった。



請願の現場を確認する委員

行政視察来庁

秋田県 にかほ市議会 11名 平成26年10月23日来庁

視察テーマ 議会議員政治倫理条例について

佐々木慶和議会改革検討特別委員長の歓迎挨拶に続き、議会事務局より標記テーマについて説明がありました。にかほ市議会正副議長はじめ議会運営委員会委員の皆さんからは、条例制定までのスケジュールや制定後の問題点、改善点ほかについて質問があり、活発に意見交換が行われました。



議会改革 レポート

第11回つがる市議会改革検討特別委員会の結果を報告します。

【平成26年8月21日開催】

●議会運営における次の事項について、実施の是非及び実施時期等の協議・検討を行いました。

- 1 本会議における一般質問等を行うための質問席の設置について
一般質問等のための質問席を設置することとした。これまでは質問の1回目を演壇で行い、2回目以降の質問は自席で行っていたが、次期改選後の平成27年3月定例会より、全質問を新たに設置する質問席で理事者側と対面して行う方法にすることとした。
- 2 議員定数変更に係る条例改正等について
次期市議会議員選挙で議員数が20名に減じられることから、常任委員会の委員定数や組織等を協議し、変更内容について12月定例会で条例改正案を提出することとした。
- 3 議員の審議会等への参加の見直しについて
市長が設置する付属機関である各種審議会、協議会等に議員が委員として参画することについて検討していくこととした。

施設見学 レポート

つがる市新産業支援センター

9月9日、議員団は副市長・市経済部と共につがる市新産業支援センターを見学しました。



この施設は旧弘前高等技術専門校つがる校舎を改修し、1階は桜木団地集会所、2階は産業支援センターとして機能するものです。

6次産業化を学ぶ



10月8日、議員団は黒石市において開催された青森県市議会議員研修会に参加しました。

研修内容は当市でも取り組んでいる6次産業化についてであり、食農連携コーディネーター鳥巢研二氏の講演を拝聴し当市の農業活性化のヒントを探りました。

平成二十六年十月十三日、阿部俊子農林水産副大臣は木村太郎総理補佐官とともにつがる市を訪れ、森田町下相野ほ場を視察し現地農家と懇談しました。その後の木造環境改善センターでの意見交換会に議員団も同席。市当局や農家から厳しい経営状況や農政についての訴えがあったほか、議員団からも多くの要望が出されました。



意見交換会の様子

平成26年度産コメ概算金下落を受け
現地視察および意見交換会
議員団も農家・市長・JA等とともに要望を伝える

阿部農林水産副大臣 木村内閣総理大臣補佐官 つがる市入り



農家の声を聞く副大臣ら

常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。今号では経済、建設両常任委員会が報告します。

経済常任委員会

視察先：三重県伊賀市(モクモク手づくりファーム)・奈良県宇陀市(7/2～7/4)

【伊賀の里モクモク手づくりファーム：6次産業化による地域活性化について】

モクモクファームは6次産業化ということばのなかった26年前からこれに取り組んできた。現在、年間50万人の来場者、通販会員4万5千世帯、従業員は150人を数える。畜産農家16戸でハム等の製造を始めた当初は売れずに苦戦したが、添加物は最小限、安心・安全に徹底的にこだわって食肉加工品や野菜、果物を生産。直売所やレストランを多数展開するまでに事業拡大した。薬品に頼らず手間暇をかけることで品質を維持。T P Pにも対応できると自信を見せている。また、夢を描ける農業のかたちに魅力を感じて就職希望者が毎年殺到するほか地元雇用も生まれ、地域の活性化に大きく貢献している。

6次産業化の手本とも言うべき成功例であり研修制度もあるこのファームに、当市の若手農業後継者を是非送り出したいと感じた。



モクモク木村会長直々のレクチャー

【宇陀市：「宇陀s g」(自治体運営型通信販売サービス)について】

宇陀市は人口減少化対策のひとつとして標記事業に取り組んでいる。この事業は、農産物や古くからの特産品など小規模に作っているその土地らしい「いいもの」を厳選し、自治体が仲介して地元ネットショップで販売し、地域所得の向上をめざすというものである。上部組織に「J A P A N s g」があり、現在全国21の自治体が参加している。メリットは①生産者(地元商店や農業者)の出店料や月々の利用料が無料②商品の紹介頁を出店者が作成する必要がない③商品発送の手続きが簡単(注文受付は運営会社)等が挙げられる。課題として当該ショップを検索してもらうための工夫が重要となるが、地域の農業者、自営業者の販路拡大をサポートする事業として大変参考になる取組であった。



宇陀市にて天坂委員長挨拶

建設常任委員会

視察先：北海道標津町・北海道釧路町(7/23～7/25)

【標津町：移住定住政策について】

標津町では、「定住促進団地」と「定住促進住宅」の整備という大きく2つの移住定住政策を行っている。「定住促進団地」は、住民登録や3年以内の住宅建設を条件に時価320万円～390万円相当の土地を無償で分譲する。募集時には、町への問い合わせが約400件もあったそうで、関東圏や関西圏が半分以上を占めるなど、移住検討者にとって大変魅力的な事業であることがうかがえた。

「定住促進住宅」は、少ない投資で移住をしたいといったニーズに応えたものであり、旧教職員住宅を新築同様に改修し、賃貸住宅としている。家賃は月15,000円～20,000円ほどと民間に比べると非常に安価であり、10年以上居住し、更に引き続き定住の意思があれば、住宅と土地が無償で譲渡される。これらの取り組みは、町の人口増加に向けた大変意欲的な事業であり、当市においても参考となるが、現役世代の移住者のために雇用対策も重要かつ検討が必要であると思われた。



標津町役場にて

【釧路町：釧路町セチリ太地区都市再生整備事業計画について】

釧路町セチリ太地区は、道路ネットワークや公共交通網が優位なところに立地しているため、多様な機能をコンパクトに集約し、道路網を整備することで「利便性」や「魅力」が充実する「にぎわい」と「活力」に満ちたまちづくりを推進している。当事業は、全国的に駅を拠点に整備しているところが多いなか、大型商業施設のバス停を拠点に整備を行っており、大変珍しいものであった。



釧路町役場にて

また、本地区は釧路市への道路網が整備されていることから、若い世代が家を建て通勤しているケースも多く、平均年齢が低い。町として独自に子育て世代に対する現金給付支援はないものの、子育てと仕事を両立できるよう、また家族連れや子育て世代、高齢者が気軽に交流できるような環境づくりを本計画で実施していくとのことである。

つがる市にも釧路町と同様に大型商業施設があり、環境が似ていることから大変参考になった。そのためには、官民連携による取り組みが重要になってくると思われた。

これまでの議会の活動の一部を紹介します (議長・副議長・議員団)

8月3日	トップセールス〔5日まで 東京・名古屋・大阪〕
10日	第2回メロン・スイカフェスティバル
15日	つがる市成人式
21日	議会改革検討特別委員会
26日	議会運営委員会
31日	馬ねぶたパレード・新田火まつり
9月1日	第3回市議会定例会開会
2日	つがる市福祉顕彰式
4日	本会議（一般質問）〔5日まで〕
8日	予算・決算特別委員会〔9日まで〕
11日	教育民生常任委員会
12日	建設常任委員会
17日	第3回市議会定例会閉会
28日	津軽まほろば会定期総会〔東京〕
10月5日	つがる市社会福祉大会
8日	青森県市議会議長会議員研修会
23日	行政視察来庁 秋田県にかほ市議会
28日	防衛省要望活動
30日	つがる市表彰式

第2回ゆるキャラすもう大会 今年もスタッフでがんばりました！

去る9月15日、イオンモールつがる柏しゃこちゃんコートを会場に開催された「ゆるキャラすもう大会」。今回は28体が集合し、屋内での開催だったこともあり大盛況となりました。市議会からは、大会の趣旨に賛同した議員が、今年もゆるキャラの土俵入りの誘導や来賓の接待などを手伝いました。人気のゆるキャラの相撲を間近で見られるということで、会場は子供たちを中心に約1000人の観客であふれ、つがるちゃんが登場するとその盛り上がりは最高潮に達しました。地域の活性化にも貢献するこのイベント。益々の盛り上がり期待されます。



クールつがる No.4 「よさこい知求群会」

つがる市のクール（良質なモノ・頑張っているひと etc）をジャンルを問わず随時紹介してまいります。

今回は、馬市まつり等市のイベントで元気あふれるパフォーマンスを繰り広げ、子どもたちの健全育成にも貢献している「よさこい知求群会」の皆さんです。

代表者 今 由紀子さん
会員数 30名（内、幼児・小学生・高校生メンバー17名）

練習日及び場所 毎週 月曜・木曜
森田環境改善センター

今後の展望 学区間、世代間の交流のためにも市全域の子ども達にメンバーになってもらう



メンバー募集中です！ 気軽に
お電話下さい。☎26-2068



◆議会に望むもの

練習等のための会場使用料の助成制度ができれば、各団体とも助かると思います。提案を期待します。

子どもたちに、活動を通してひとつのことをやり遂げた時の達成感やよろこびを味わってもらい、また、自信をつけてほしい そんな思いで活動を続けていると語る今代表。どこまでも「つがる市の応援隊として」が基本スタンスです とのことでした。

議会を傍聴してみませんか

議会は一般に公開されており、いつでもどなたでも傍聴できます。手続きも不要となり整理券を受け取るだけです。（定員40名）
議場はつがる市役所本庁舎3階です。エレベーターをご利用下さい。

【次回定例会予定 12月】

編集後記

つがる市議会では、平成24年9月に議会改革検討特別委員会を立ち上げ、一歩一歩改革を進めて参りました。議会だよりの改善もその一環として取り組んできたところです。より多くの市民の皆様が市政に関心を持っていたために「きれいに・見やすく・真実を」をモットーに編集してきました。これまで多くの方々からご意見が寄せられました事に感謝しております。今後もご愛読いただけるように編集をして参りますので、ご要望がございましたら下記電話番号までご連絡下さい。

佐々木（慶）記

■市議会だより編集委員会

委員長 野呂 司
副委員長 佐々木 直光
委員 木村 良博
長谷川 徹
小笠原 忍
村上 秀徳
佐々木 慶和
平川 幸洋
伊藤 良二